

2021 神戸消防この一年

主な出来事

◆リモート消防出初式を開催（警防）

（1月）令和3年の神戸市消防出初式は、新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し、映像と音楽で決意を伝える「リモート」出初式としました。コロナ禍において不安を抱える市民の方々や日常生活を支えるエッセンシャルワーカーに「勇気と希望」のメッセージを伝えるため、神戸を拠点に活動する作詞家松本隆さんによる名曲「瑠璃色の地球」を、防災に携わる方々や消防隊員でコーラスし、インターネットでの配信した他、市内の施設にて公開しました。



◆消防関係手数料のクレジットカード決済開始（危険物保安）

（1月）新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、神戸市では行政手続きのスマートフォン化を目指して電子申請の導入を進めています。危険物関係等の手数料が伴う許可申請に電子申請を導入するためには、手数料領収を窓口で行わない方法を確立する必要があったため、オンラインで手数料を支払う方法として、クレジットカードを利用したキャッシュレス決済を政令市消防本部で初めて導入しました。

◆おうちde「第16回きらめきコンサート（センター）」

（2月）新型コロナウイルスへの警戒を優先し、『第16回きらめきコンサート』は、無観客ホールでの演奏撮影としました。その動画をインターネットで配信することにより、沈みがちになる社会のムードを少しでも明るくすること、また「安全・安心なまち、こうべ」の実現に向けて「震災から得た教訓」や「災害に備える重要性」の発信を目的としました。

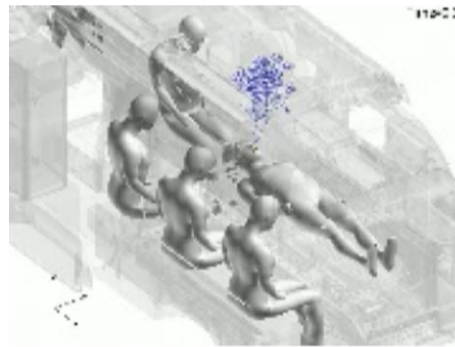


◆消防艇全国一斉放水（水上）

（3月）「春の火災予防運動」の一環として火災予防を訴えるとともに、コロナ禍で頑張っておられるすべての人にエールを送るため、消防記念日である3月7日に、全国23消防本部の消防艇と時を同じく、心を一つにして、全国各地で一斉に放水を行いました。放水を通して、コロナを乗り越えるための「勇気と希望」を伝えることができたと感じています。

◆理化学研究所と神戸市の連携協定に基づく「スーパーコンピュータ「富岳」を用いた救急車における感染拡大防止のための換気に関する研究結果」を報告（救急）

（3月）救急車の換気に関する現状を把握し、新型コロナウイルス等の感染症に強い体制を整えることを目的に、神戸市の救急隊が行っている救急車内の換気方法について、スーパーコンピュータ「富岳」を用いて検証を行いました。その結果、換気方法の有効性を確認することができたため、研究結果を神戸市消防局感染防止マニュアルに反映したほか、全国消防長会、学会発表、雑誌掲載等を通じて全国に向けて広く発信しました。



◆協共進牛乳協力ののもと、牛乳パックを用いた熱中症予防広報を実施（救急）

（3月）協共進牧場にご協力いただき、牛乳のパッケージ広報欄を利用した熱中症予防広報を実施しました。これは運動直後30分以上に糖質とタンパク質を含んだ食品を補給することで、暑熱順化の効果が高まることが報告されていることから、幅広い年代に愛される牛乳で、



暑くなる前の熱中症予防「暑熱順化」を広報したものです。このパッケージの牛乳は兵庫、大阪、京都など近畿圏の量販店等で約500万本販売されました。

◆兵庫消防署新庁舎竣工式（兵庫）

（7月）旧兵庫区総合庁舎の建て替えに伴い、兵庫区総合庁舎第2期工事として整備を進めていた兵庫消防署が完成し、7月28日に竣工式を挙行了しました。地域の災害需要に対応するとともに、庁舎屋上には市民が放水訓練を行える訓練施設が設置され、兵庫区の防災力向上を目指した庁舎です。8月10日から運用を開始しています。



◆消防団のICT化として消防団タブレットを整備（消防団支援）

（8月）各消防団本部・支団本部において災害時の情報収集・情報共有を効率的に行うために消防団タブレットを整備しました。消防団長支団長会議や消防団スマー情報システム117操作訓練、若手消防団員意見交換会等の平常時にも活用することで消防団業務の効率化も図られています。



◆救急医療週間特別番組「救急係長カワムラ」の制作・放映（救急）

（9月）新型コロナウイルス流行下における初の試みとして、救急医療の最前線で活動する救急隊にスポットを当てたドキュメンタリー番組を制作し、9月9日の救急の日に合わせて「COMチャンネル」で放送しました。救急行政に対する理解を深め、猛威



を振るう新型コロナウイルスに対応する救急隊の現状について考えるきっかけとしていただきたいという思いで制作しました。

◆「Kobe Live119」を活用し、救急現場に迅速な対応を促す動画の配信開始（司令）

（11月）これまで通報者からの災害現場における初期情報の把握に活用してきた「Kobe Live119」を活用し、事前に作成した心肺蘇生法の動画を管制室から通報者に対して送信することにより、視覚的に情報が伝えられることができ、よりスムーズに心肺蘇生の指導を行うことができるようになりました。また、通報者からの動画情報を指揮隊に送信することで、視覚的な情報共有も可能となりました。



◆管制室の動画作成（リモート見学・YouTube配信）（司令）

（11月）新型コロナウイルスの感染拡大によって、来庁いただいたの管制室見学ができなくなったため、三田会議システムを活用したリモート見学を開始しました。併せて、リモートであっても管制室の業務を深く知っていただくため、管制室見学動画を作成し動画投稿サイトに掲載しました。

◆西神南出張所竣工式&業務開始（西）

（12月）14年ぶりの新設消防署所として「西神南出張所」を竣工し、業務を開始しました。消防隊、救急隊がそれぞれ1隊ずつ配置され、西区東部を中心とした警備体制を強化しました。



◆淡路広域消防事務組合と消防相互応援協定を締結（警防）

（12月）淡路広域消防事務組合と管轄を越えて災害時に援助しあう「消防相互応援協定」を締結しました。令和元年に神

戸市と淡路3市（洲本市、淡路市、南あわじ市）が地域資源の有効活用を図ることを目的とした協定を締結しており、交流人口の増加も見込まれることから、安全への備えとして防災面においても、より迅速な応援体制を確保することで、双方の市民の安全安心に寄与することを目的としています。



◆緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練@兵庫県（警防）

（12月）4日と5日に、淡路島を震源とする大規模地震による甚大な被害の発生を想定した「令和3年度近畿府県合同防災訓練・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練」を県内各地で開催しました。兵庫県での開催は平成24年以来9年ぶりとなります。緊急消防援助隊としては、近畿2府7県と隣接する岡山県から陸上部隊180名、消防艇3艇20名、航空機8機40名が参加、その他関係機関含めると延べ200機1800名が参加する大規模な訓練となりました。



◆大阪市北区のビル火災を受け、市内ビルへの緊急立ち入り検査を実施（査察）

（12月）大阪市北区の火災が発生したビルと同様に、階段が屋内に一つしかなく、地階又は3階以上の階に不特定多数の方々が利用される用途（飲食店、物販店、病院等）が入居している神戸市内の防火対象物に対して、避難障害の有無、防火戸の不備、消防用設備等の不備についての緊急点検を実施しました。

「神戸消防」の一年（詳細）

【1月】

- ・リモート消防出初式を開催（警防）
- ・文化財防火デー（予防）
- ・オンライン職務説明会（職員）
- ・防災功労者表彰式を中止し、表彰伝達を実施（各消防署）
- ・ピーエル出版株式会社から消防局企画の防災絵本「地震がおきたら」の寄贈（予防）

【2月】

- ・震災初動対応訓練（警防）
- ・救急技術研修会の動画公開（救急）
- ・消防関係手数料のクレジットカード決済開始（危険物保安）

【3月】

- ・おうちで「第1回きらめきコンサート」（センター）
- ・第2回オンライン職務説明会（職員）
- ・冬山救助研修会（航空機動隊）
- ・第16回傷病者の搬送及び受入れの実施基準検証員会（救急）
- ・令和2年度第3回救急研修委員会（救急）
- ・北防災の賞（北）

【3月】

- ・消防艇全国一斉放水（水上）
- ・山火事防止運動（予防）
- ・春の火災予防運動（予防）
- ・ドローン夜間運用開始（警防）
- ・理化学研究所と神戸市の連携協定に基づく「スーパーコンピュータ『富岳』を用いた救急車における感染拡大防止のための換気に関する研究結果」を報告（救急）
- ・神戸大学海洋教育研究基盤センターと消防署員の船舶災害等への対応力及び操船技術の向上にむけて協力体制を確立（水上）
- ・職務研究発表会（センター）

- ・共進牛乳株式会社協力のもと、牛乳パックを用いた熱中症予防広報を実施（救急）
- ・神戸空港保安委員会訓練（警防）
- ・第39回救急活動事後検証委員会（救急）
- ・第40回神戸市MC検討委員会（救急）
- ・神戸消防アクションプラン2025を策定（総務）
- ・BOKOMI サポーター制度に「NPO 法人 プラス・アーツ」、「株式会社コー・プラン」を登録（予防）
- ・女性限定オンライン職務説明会（職員）
- ・生活あんぜん・あんしん情報誌「雪」終刊25年の歴史に幕（予防）
- ・第3回救急症例研修会（救急）
- ・救急実務研修（救急）
- ・救急救命士養成課程修了式（救急）

【4月】

- ・初任科入校式（センター）
- ・春のグリーンコンサート（センター）
- ・防人賞（西）
- ・神戸市採用説明会（消防区分）を実施（職員）
- ・令和3年度第1回救急研修アドバイザー研修（救急）

【5月】

- ・春のグリーンコンサート（センター）
- ・聖火リレーに伴う歓迎放水（水上）
- ・初任科水防訓練（センター）
- ・各消防署にデジタルサイネージ設置（総務）
- ・ハーバランドセンタービル（大規模ワケチン接種会場）への職員派遣（職員）
- ・ノエビアスタジアム神戸大規模接種会場への職員派遣（職員）

【6月】

- ・風水害対応訓練（警防）
- ・危険物安全週間（危険物保安）

- ・市県親善体力練成会（センター）
- ・神戸空港訓練（警防）
- ・石油コンビナート等総合防災訓練（警防）
- ・初任科震災対応訓練（センター）
- ・YouTubeを活用した防災マネジメント研修（特別講座）の開催（予防）
- ・大規模災害対応研修（救急）

【7月】

- ・兵庫消防署新庁舎竣工式（兵庫）
- ・石油コンビナート総合防災訓練（危険物保安・警防）
- ・猛暑による救急需要の増大に備えるため、臨時救急隊を増隊（救急）
- ・初任科水難救助訓練（センター）
- ・消防が暑い夏休み（センター）
- ・高機能救命ボート運用開始（水上）
- ・東川崎防災シミュレーションチームが総務大臣賞を受賞（中央）
- ・第18回救急活動事後検証委員会（救急）
- ・兵庫県立視覚特別支援学校での市民救命士講習（垂水）
- ・株式会社「ディーエスピーリサーチ」からの寄附（二千万円）に伴う受納式の開催（総務）
- ・株式会社神戸マツタからの「避難体験VR 災害模擬体験装置」の寄贈及び感謝状贈呈式の開催（兵庫）
- ・令和3年度第1回救急研修委員会（救急）

- ・第17回傷病者の搬送及び受入れの実施基準検証員会（救急）
- ・消防団の「C」化として消防団タブレットを整備（消防団支援）

【9月】

- ・初任科鍛錬健足（センター）
- ・土砂災害対応訓練（警防）
- ・新型コロナウイルス感染拡大による救急需要の増大に備えるため、臨時救急隊を増隊（救急）
- ・救急医療週間特別番組「救急係長カワムラ」の制作・放映（救急）
- ・初任科局長査閲（センター）
- ・初任科卒業式（センター）
- ・救急救命士養成課程入校式（救急）
- ・インターシップ（職員）
- ・第11回神戸市MC検討委員会（救急）
- ・西神南出張所工事壁に「ウミキリン」コラボイラストを掲載（総務&施設&西）

- ・緊急消防援助隊 中国・四国ブロック合同訓練@広島県（警防）
- ・三機関潜水訓練実施（警防・水上）
- ・西消防団ポンプ操法競技会（西）
- ・秋の火災予防運動（予防）
- ・西区防災のつどい（西）
- ・第11回兵庫区防災フェスタ（兵庫）
- ・第101回救急活動事後検証委員会（救急）
- ・第9回救急症例研修会@中央市民病院（救急）
- ・イベント「BE KOBE DAY」に参加（総務・兵庫・センター）
- ・第2回救急研修アドバイザー研修（救急）
- ・臨時本部教養研修（救急）

【10月】

- ・岩岡救急ステーションに日勤救急隊を配備（西）
- ・兵庫県・神戸市国民保護共同訓練（警防）
- ・秋のオータムコンサート（センター）
- ・第3回救急技術研修会（救急）
- ・神戸空港総合訓練（警防）
- ・神戸市応急手当講習会のインターネット受付開始（センター）
- ・臨時救急活動事後検証委員会（救急）

- ・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練@兵庫県（警防）
- ・大阪市北区のビル火災を受け、市内ビルへの緊急立ち入り検査を実施（査察）
- ・確水欽也氏からの「消防組天正時代法被・刺子」の寄贈及び寄贈式の開催（兵庫）
- ・東灘区民の防災安全のつどい（東灘）
- ・全市総合防災訓練（警防）
- ・年末年始特別警戒（警防）
- ・局長視察激励（総務）
- ・第2回救急研修委員会（救急）

【11月】

- ・「Kobe Live19」を活用し、救急現場に応急手当動画の配信する新たな取り組みを開始（司令）
- ・消防管制室見学用動画「消防管制室のヒミツ」配信開始（司令）
- ・旅客船事故対応訓練（警防）

【12月】

- ・西神南出張所竣工式&業務開始（西）
- ・淡路広域消防事務組合と消防相互応援協定を締結（警防）
- ・緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練@兵庫県（警防）
- ・大阪市北区のビル火災を受け、市内ビルへの緊急立ち入り検査を実施（査察）
- ・確水欽也氏からの「消防組天正時代法被・刺子」の寄贈及び寄贈式の開催（兵庫）
- ・東灘区民の防災安全のつどい（東灘）
- ・全市総合防災訓練（警防）
- ・年末年始特別警戒（警防）
- ・局長視察激励（総務）
- ・第2回救急研修委員会（救急）

※各項目下の（ ）内は、主たる所属を表記しています。